

2010 年度

都市アメニティ工学研究室夏期集中研究報告書

## 鹿角市花輪関善周辺地区のまちづくり活動の提案

2010 年

9月2日（木）・3日（金）

秋田県立大学 建築環境システム学科

都市アメニティ工学研究室



## はじめに

### ■夏季集中研究の目的とテーマ

新生都市アメニティ研究室になって4年目の夏。例年のない猛暑の中で、今年の夏季集中研究は実施されました。

この取組みの目的は、「現実の世界との接点から、都市計画・まちづくりの広い視野を養う」、「教員と学生、及び学生間の親睦を深める」の2点で以前から定式化されています。その上で、今年のテーマを関善賑わい屋敷を中心とした「鹿角花輪の歴史的市街地の再生」と設定しました。

### ■今年の特徴

今年の特徴は、4月5日という早い段階でテーマが検討され、拡大運営会議と全体ゼミの議論を通して研究室全体で準備を進めた点にあります。また、学生たちは事前研究を十分に行い、相当程度の情報を事前に仕入れて現地調査に臨んだ点にあります。さらに重要なことは、単なる調査・提案にとどまらず、研究対象となった「関善賑わい屋敷」の修復作業に実際に取り組んだということです。具体的には外壁の柿渋塗りと内壁の漆喰塗りです。学生たちは、実習に使うツナギを着、汗をしたたらせて刷毛とコテを使った作業に取り組みました。この実体験は、これまで感じていた調査研究側と調査対象との間にある距離を、一気に縮めたと言ってもよいでしょう。参加した学生によって、既に関善のHPに書き込みが見られます。来年度の集中研究に、もっと言えば今後の研究室の活動スタイルに強い影響を与えるのではないか、と予感させる取組みでした。

また、どうしても触れておきたいことがあります。

これまで、夏季集中研究は大学内において都市アメニティ研究室の枠の中の取組みでした。しかし、今回は学科内の4講座制への移行に伴い、同じ計画学講座内にある建築計画研究室にも呼びかけ、有志5人の参加も得て実施したということです。そうした意味で、主催は「都市アメニティ研究室 + 建築計画研究室有志」としなければならないでしょう。

最後に、9月2日、3日の現地研究の際、研究素材として屋敷そのものの利用を快諾頂き、修復作業の指導や2回にわたる発表会での助言、さらに合宿スタイルでの夕食準備や宿泊など、NPO 関善賑わい屋敷の皆様には多方面でお世話になりました。この場をお借りして、御礼申し上げます。次第です。

2010年11月1日

秋田県立大学 建築環境システム学科  
都市アメニティ研究室 + 建築計画研究室有志  
指導教員：浅野耕一、山口邦雄、小川宏樹

## ■参加者一覧

教員 浅野 耕一 山口 邦雄 小川 宏樹  
M2 小熊 耕平 新田 裕磨  
M1 佐藤 彩夏 島 淳一 千葉 遥 立花 葵 (班長)  
B4 上村 翔子 加藤 辰彦 (班長) 金子 佑 小玉 彩子 (合宿係)  
篠原 美由希 (合宿係) 菅原 功子 鈴木 結花 渡辺 豊  
B3 大塚 洸 佐藤 直樹 木村 洋子 北山 絵梨奈 小笠原 聡美  
伊藤 正太

## ■ 今回の調査でお世話になった方々

特定非営利活動法人 関善賑わい屋敷 理事長 奈良東一郎  
副理事長 大森好一  
理事 吉村アイ  
理事 奈良学  
事務 佐藤ひとみ  
他関係者の皆様

# 目次

## はじめに

### 1. 事前研究

(1) 夏合宿に向けた企画会議（全体の資料）	・・・・・・・・・・	1
(2) 事前研究発表会		
①事前調査・研究の枠組み	・・・・・・・・・・	5
②まち環境班	・・・・・・・・・・	7
③屋敷活用班	・・・・・・・・・・	11

### 2. 研究成果のまとめ

(1) まち環境班 1	・・・・・・・・・・	15
① みんなあつまって活性化-住民参加型拠点強化-（大町グループ）		16
② 伝えよう花輪の歴史文化 六日町グループ	・・・・・・・・・・	22
③ それゆけ！花輪探検隊～鹿角花輪市街地サイン計画～ サイン計画		30
(2) 屋敷活用班		
① 見て！触れて！感じよう！我らが育てる関善屋敷 屋敷グループ	・・	33
② みんなで活かすくらしっく 奥蔵グループ	・・・・・・・・・・	37
(3) 地域発表会	・・・・・・・・・・	43

## 夏期集中研究を終えて

## 付録



## 1. 事前研究

夏期集中研究は、学内での現地調査等に基づいて行っています。

しかし、研究対象が学生の興味関心から外れたものであれば、積極的な学生の関与はありません。また、研究対象を十分理解し、あらかじめ周辺事項を研究しておかなければ、単なる物見遊山、思いつきの提案となってしまいます。

そのため、研究対象の設定から事前研究、さらに当日に必要な備品、スケジュール等まで学生と協議を重ねながら準備をすすめました。

ここでは、その記録を示します。





## ①事前調査・研究の枠組み

建築環境システム学科

計画学講座都市アメニティ分野 夏季集中研究

2010.05.11 山口邦雄

### 1. 目的

夏季休暇期間を生かし、実際の都市及び建築を素材に計画やまちづくりについて教員の指導に基づき集中的に調査・研究を実施するとともに、地域住民・専門家との交流を通じて知見を広める機会を創りだす。

### 2. 集中研究の概要

9月2日(木)～3日(金)において、鹿角市花輪のNPO 関善賑わい屋敷及びその周辺市街地を研究対象として現地ヒアリング、現地調査・研究を行う。また登録有形文化財の屋敷の修復作業を行う。成果を調査結果と提案にまとめる、後日に発表会を実施する。

#### 【参加者】

- ・教員3名、学生18名(予定)

#### 【内容】

- ・2班に分け、1班(10名)は関善周辺の調査及び整備構想の立案、2班(10名)は屋敷の柿渋塗りや室内漆喰塗りなどによる修復作業を行う。

#### 【工程】

##### ●2日(木)

- ・7:30 本荘キャンパス出発  
(途中で昼食)
- ・12:00～14:00 NPOの方からの基本レクチュア&屋敷見学
- ・14:00～18:00 1班/調査作業、2班/修復作業
- ・18:00～18:30 後片付け
- ・18:30～21:00 銭湯・夕食
- ・21:00～ 就寝(関善の屋敷にて)

##### ●2日目

- ・7:00～8:00 朝食
- ・8:00～13:00 1班/整備像の作成、2班/修復作業
- ・13:00～14:00 昼食
- ・14:00～15:00 作業のまとめ・発表、NPOの方との交流
- ・15:00～帰路
- ・19:00 本荘キャンパス着、解散

### 3. 実施体制

- ・実施主体：計画学講座都市アメニティ分野研究室
- ・他の参加：計画学講座、材料学講座などからの参加希望者
- ・協力：NPO 関善賑わい屋敷、鹿角市役所

## グループ代表ミーティング 全体メモ

---

100825 13:00～

出席：小熊、立花、加藤、金子、菅原

### 1. 全体に対する指摘（各グループメモにも、随所に大切なメモが書き加えられているので要確認！）

- ・ 班（屋敷班、まち班）の中での繋がりを意識すること
- ・ 班の繋がりだけでなく全体の繋がりを意識すること「回遊性」「拠点の強化」
- ・ グループのどれかで酒の提案するのか、何グループかで酒の提案をするならば繋がりが大切
- ・ 市 ⇔ 屋敷の連続性 ⇒ 目標
  - ビアガーデン[屋台 ⇔ 土間 ⇔ 中庭の連続性]
  - 食[市（買う）⇔ 関善（作る）⇔ 関善、中庭（食べる）の連続性]

#### 特に重要

- ・ 地域の継続の上に活性化があることを意識する
- ・ 一瞬のイベントで爆発的に活性化されるのではなく、コンスタントに活性化され何年も繋がるような提案が良い
- ・ 住みたい、行ってみたいと思われるような仕掛けが欲しい
- ・ 各班の提案をもとに全体を繋げた断面図の作成 ⇔ 全体に繋がりがうまれる、全体の繋がりを確認できる、全体の繋がりを理解してもらえる（地域発表会）

### 2. 指摘をもとにした全体の方針

#### 1) コンセプト・キーワード

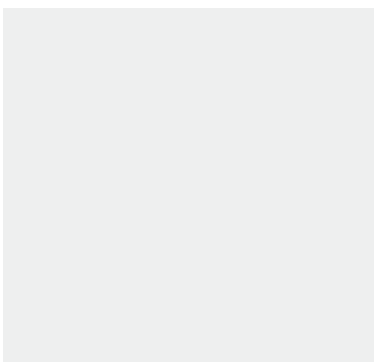
→回遊性、町の継続、継続的な発展または最適化、永遠の価値、本物、感動を与える、教育、保存、酒

#### 2) 対象とする人

→内側…住民、NPO 法人、、、  
外側…湯治客、観光客、、、

#### 3) 発表のまとめ方

→地域発表会ではスケッチまたは図面などを使って、水路-朝市-屋敷-中庭-奥蔵の流れを断面でつなげてイメージを作成



日程		9/3(金) 07:00 ~ 19:00	備考
07:00	朝食	おにぎり、汁物 ・朝食準備(運搬)、後片付け	
08:00	進捗発表	・昨日までの経過を各班報告 (1グループ5分以内で質疑2-3分)	
08:30	作業	・グループに分かれて作業	
13:00	昼食	・弁当の受け取り、後片付け	
14:00	作業(まとめ)	・発表の会場準備	
15:00	中間発表	・各班の提案発表、意見、質問 (1グループ10分で質疑5分)	
16:00	片付け	・現状復帰 ・機材等の梱包 ・お礼のあいさつ	
16:30	閉善発	・バスにて県大へ ・途中、道の駅二ツ井・太平山で休憩	※二ツ井では、各自晩ご飯購入を見込んで、長めに休憩を取ります。
20:00	解散	・全合宿日程終了 ・お疲れ様でした!! 帰りは事故などに ・ならないように気をつけて...	

緊急連絡先

合宿係  
篠原真由希 080-3882-5548  
小玉 彩子 090-1081-1072  
閉善係(わい)屋敷

Tel.0186-23-7789

Address. 秋田県鹿角市花輪字上花輪 85

理事長 奈良 東一郎

副理事 大森 好一

理事 吉村 アイ(台所・広報)

理事 奈良 学(修復作業)

2010 都市アミニティ分野夏季集中研究(夏合宿)・裏

～鹿角花輪の歴史的中心市街地の再生～

緊急連絡先

合宿班分け

のついでにいる人が班長  
\*のついでにいる人がグループ長

町環遊班

チーム  
閉善(町環遊)やボケツトパーク等を対象に観光ツアーし、回遊性を  
高める活用案を提案する。

六日町グループ

\*加藤 広彦 新田 祐磨 千葉 運  
木村 洋子 佐藤 直樹

大町グループ

\*番原 功子 小橋 耕平 小玉 彩子  
篠原 真由希 伊藤 正太

屋敷活用班

チーム  
閉善(屋敷)の歴史の建築物を、地域の拠点・活性化の素材として  
捉え、活用案を提案する。

屋敷グループ

\*金子 佑 鳥 淳一 鈴木 結花  
小笠原 悠美 北山 結梨 奈

奥蔵グループ

\*立花 葉 佐藤 彩夏 上村 翔子  
渡邊 麗 大塚 洗



周辺地図

メニュー

メニュー

入浴のマナー

銭湯に入る前に ...  
Look before you go in.

浴室に入るときはパンツを脱いでください  
Please take off your underwear before you go in.

湯船に入る前に汚れた体を洗い流してください  
Please wash yourself well before getting into the tub.

湯船にタオルは入れないでください  
Please keep your towel out of the tub.

シャワーは座って使い、使わないときは温水を止めてください  
Please use the shower while sitting and turn it off when you don't use it.

洗濯はご遠慮ください  
Please refrain from washing your clothes or under wear.

脱衣場に戻る際には濡れた体を拭いてください  
Please wipe yourself off before coming out to the dressing area.

公共マナーを守り、裸の付き合いを楽しみましょう

Enjoy bath with manners.

天王寺浴場組合HPより引用



《 NPO 改善賑わい屋敷 市街地中心部 》

所在地 : 秋田県鹿角市花輪  
人口 : -6.8% (08/03)

設立目的: 古い町家の保存活用による賑わいある  
地域社会の実現  
認証 : 2002年8月

会員数 : 66人 (+賛助会員78人)

事業の成果

- ・ 来館者、来街者の増加
- ・ 地域の公民館的機能
- ・ 活性化政策へ

課題

- ・ 維持管理の資金不足
- ・ 定期市の指定管理業務による収益確保
- ・ 市公舎堂の再生活用



「鹿角市まちづくりビジョン」2009.3での改善の位置づけ



3. 研究にあたってのミッション

《町家の活用像の研究》

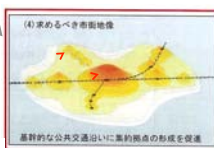
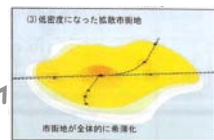
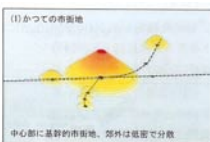
- ・ 屋敷と奥蔵の活用像 (ソフト) と修復像 (ハード)
- ・ セルフリファーマビッシュとしての、柿渋塗りと漆喰塗り

《市街地再生像の研究》

- ・ 周辺地区の詳細計画・設計
- ・ 庭園の開放利用像 (家屋の活用を含む)
- ・ 市街地回遊のための仕掛け (スポット整備、サイン計画等)



価値創造の視点



新しい推進主体: まちづくり論  
中心市街地のアクティビティ  
農村集落等でのアクティビティ

政府: 「新しい公共宣言」

4. 留意点

- 参加者は、集中研究の成功に向けてそれぞれが「貢献」する。
- 遊びではない。単なるイベントでもない。大学の研究活動の一環。専門性を有する者として、開善の活動に如何なる貢献ができるか? を考える。
- と、同時に、アクチュアルな活動に触れることにより知見を広げる。
- 事故に陥らないように。
- 合宿係 (篠原・小玉) の指示は、教員の指示に準ずるものとする。

事前研究発表会 10/08/17

## まち環境班

建築・都市アメニティ講座

### 市街地再生像の研究

町並み形成のスタディ

庭園の開放利用像

市街地回遊のための仕掛け

### 目的

中心市街地における回遊性を高めるための  
拠点となる施設の整備・活用案を提案すること

### 鹿角市花輪地域の現状

(一)

人口減少

少子高齢化

商店街の衰退

空き店舗の増加

観光客の減少

(+)

観光施設、観光資源等集積

事前勉強会より

### キーワード

歴史的建造物  
故+新 文化を知る拠点

市場  
市以外の時の利用像



キーワード

水  
水に触れられる空間

酒  
仮設の飲み屋街



キーワード

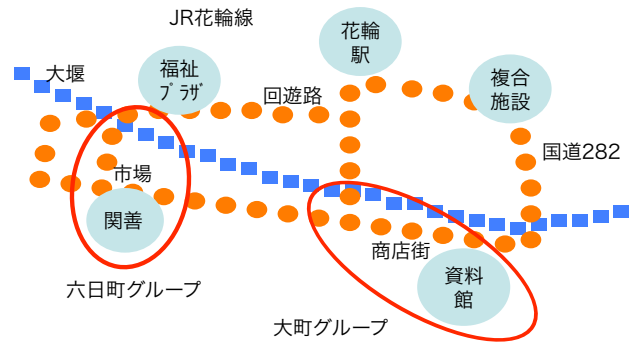
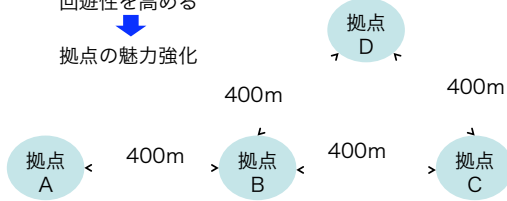
教育  
高齢者の活躍の場

祭り  
日本三大囃子



### 400理論

人が歩ける距離=400m  
拠点間距離を400m以下に設定し配置  
回遊性を高める  
↓  
拠点の魅力強化



六日町グループ…関善周辺、市、庭の整備・活用像

大町グループ…資料館と小学校の連携、アイストップ  
商店街の整備・活用像

サイン計画、歩道整備案、ポケットパークの整備案等  
回遊のための仕掛けの提案



六日町グループ



関善周辺の現状



関善周辺の現状

関善

歴史的建築物が残る  
→活かしつつ整備  
新たな価値



関善周辺の現状

市場

朝の賑わい

→市がないときの工夫



関善周辺の現状

庭+民家

きれいに整備されている  
現在は情報が少ない



イメージ

賑わいの市とは対照的に落ち着いた空間の演出

関善周辺は歴史と文化が感じられる空間  
まちに賑わいをもたらす場所



テーマ

「花輪文化はじまりの拠点」

提案 1

関善

関善活用案→屋敷班

関善周囲のデザインの提案

故と新の融合

提案 2

市場

市場のデザイン

①軒的なところのデザイン

市のない時の工夫

①シャッターに絵  
やくみつる  
高橋陽一

②(夜)仮設の飲み屋街の設置



提案 2

市場

市場のデザイン

①軒的なところのデザイン



提案 2

市場

市のない時の工夫

①シャッターに絵

上 やくみつる

下 高橋陽一



提案 2

市場

市のない時の工夫

②(夜)仮設の飲み屋街の設置

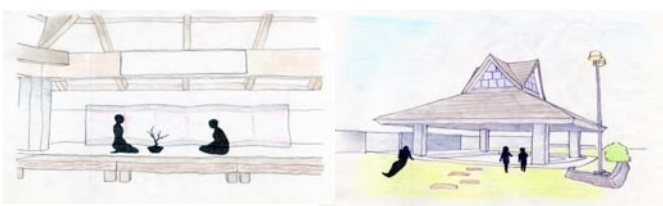


提案 3

庭+民家

書道、茶道などを行う日本的な落ち着いた空間とする

近くの舞台との連携→舞台で成果を披露する



提案 4

その他

市場を通る回遊路のデザイン

サイン計画

自然環境との共存も考慮



# 関善

第2回オリエンテーション 屋敷活用班

## 屋敷活用班の構成

担当 浅野先生

班長 立花葵

佐藤彩夏 島淳一

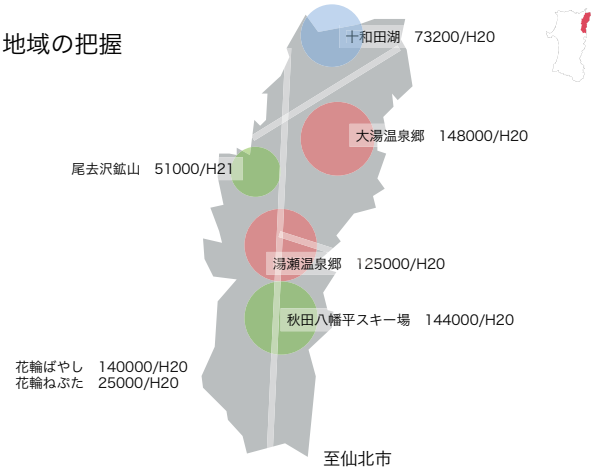
メンバー

上村翔子 金子佑 鈴木結花 渡辺豊

## テーマ

関善酒店の**歴史的建築物**を、地域の拠点・活性化の素材として捉え、活用機能を**提案**する。

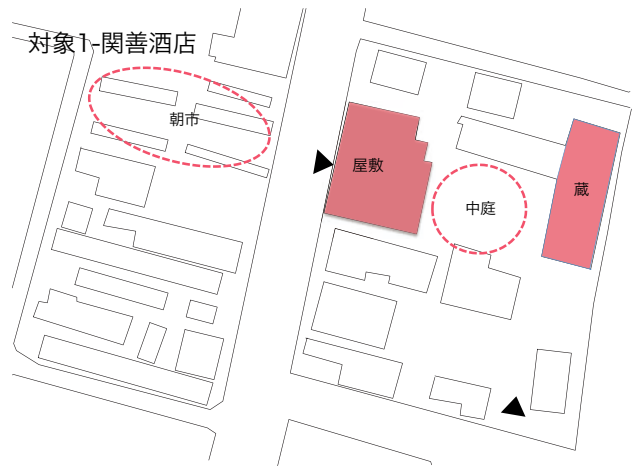
## 地域の把握



## 地域の把握



## 対象1-関善酒店



## 関善の歴史

1856年 創業

1905年 花輪大火により類焼したため建築

1925年 合名会社 関善商店設立

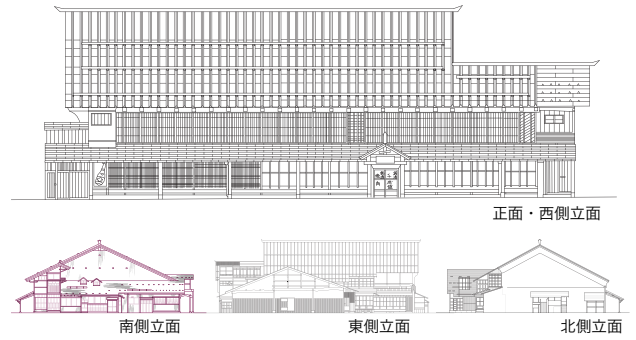
1943年 北秋、鹿角の21軒が合同して、北鹿酒類製造株式会社として発足

1990年 かつの銘酒株式会社を発足、その後関善は酒の製造を止める

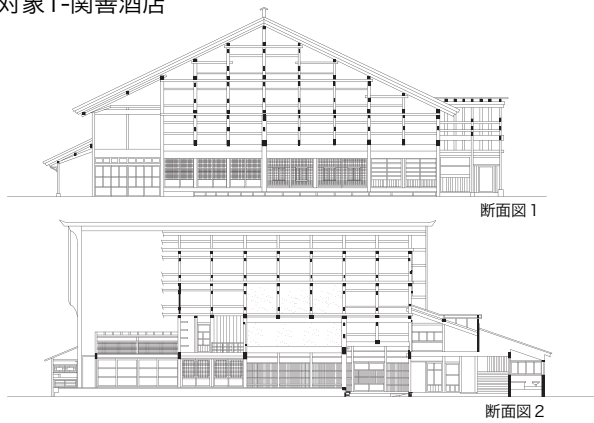
2004年 4月から曳家工事が始まり8月に完了

2006年 登録有形文化財として登録

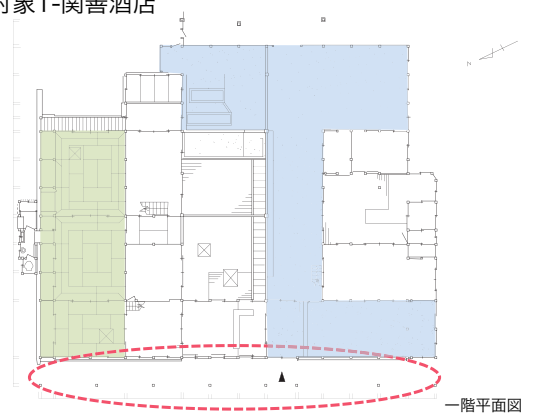
## 対象1-関善酒店



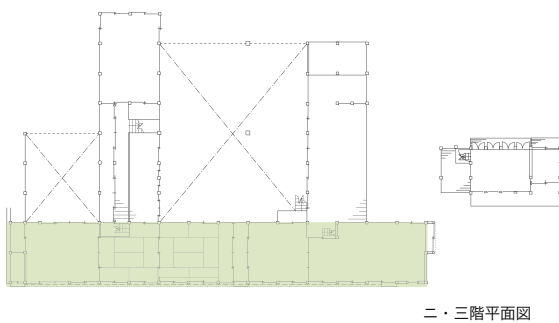
## 対象1-関善酒店



## 対象1-関善酒店



## 対象1-関善酒店



## 事前勉強会から

### まちづくり活動拠点の事例

- ・ 築100年を越す町家を地元NPOにより整備
- ・ 一階部分はギャラリーやコンサートなどのイベントスペースとして活用
- ・ 二階部分は奈良町に関する文庫やNPOの事務所に活用



事例1.奈良県 奈良町物語館

## 事前勉強会から

- 活用事例の傾向
  - 蔵 … 資料館、店舗、住宅
  - 町家…交流施設（展示スペースなど）、まちづくりの拠点、店舗
  - 町家、蔵を活用した複合施設
- 歴史的建築物の役割
  - ・町おこし、まちづくりの拠点
  - ・未来に向けての文化発信地
- 地域の特徴
  - ・花輪ばやし、花輪ねぶた
  - ・酒
  - ・コミセ
  - ・商業地域であり、仕出し屋などがある

## 補足

「こみせ」  
各店の道路側正面の庇を長く出す雪国伝統の建築様式。その下を人が歩けるようになっており、私有地でありながら公共的な利用が高される。



写真 鹿角市毛馬内/関善

## 課題

- 現代の生活の課題
  - ・少子高齢化
  - ・食への関心
  - ・中心市街地の高齢化
- 地域課題
  - ・周辺に観光地があるため、関善周辺は観光として訪れる人が少ない
  - ・まちづくり、NPOの活動拠点が整備されていない
  - ・NPOの協力者が少ないのでは？
  - ・町に点在する歴史的建造物が十分に活かされていない
  - ・まちのサインがない
- 建物の課題
  - ・補修の必要あり（漆喰塗りを手伝う）
  - ・保存にかかる労力、費用
  - ・所有者、NPO法人の意向

## 屋敷活用班の方針



拠点 住民 交流 観光 まちづくり

方針 まちづくりの拠点として、地域住民同士の交流の場提供  
観光地としての活性化を図る

作業

- ・屋敷の活用像（ソフト）と修復像（ハード）
- ・奥蔵の活用像（ハード）と修復像（ハード）
- ・セルフリファーマービッシュとしての、柿渋塗りと漆喰塗り

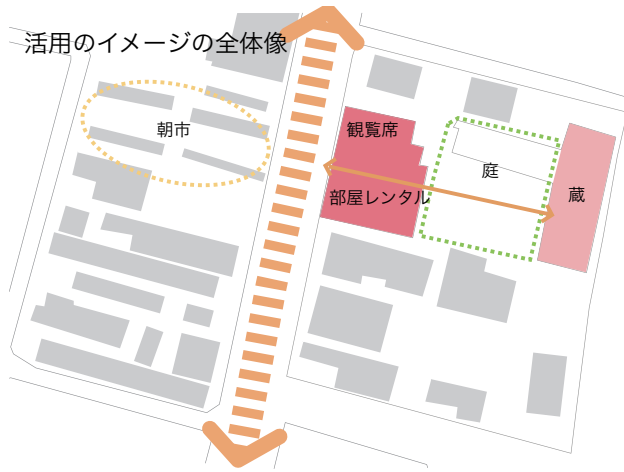
## 活用案

- 住民による地域活性化を目的とした利用、仕掛け
- 1.蔵 … 目的性のある施設（展示、レンタルスペース）
  - 2.屋敷 … ふらっと立ち寄れる施設（祭り観覧席、寺子屋、足湯、茶屋）
  - 3.中庭 … ビアガーデン

## 活用イメージの概要

- ・地域の歴史的建築物を宴会・レンタルスペースとして利用
- ・住民…まちづくりに参加  
NPO法人…管理、運営  
外部…観光にて立寄、利用
- ・地域まちづくりの拠点として機能

## 活用のイメージの全体像



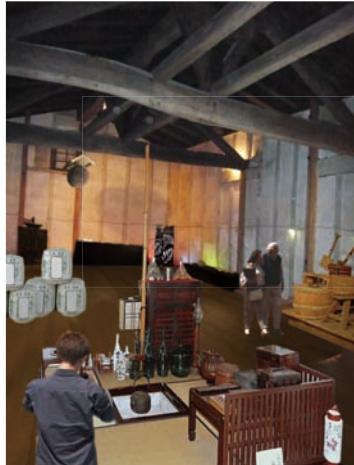
## 空間のイメージ-町家

- ・ 寺子屋  
子供が集まる施設とすることで  
世代間の交流が得られる
- ・ レンタルスペース、宴会場  
住民が自由に利用できる施設とす  
ることで、地域への関心を高め観  
光地としての基盤を作る
- ・ 寄り道  
縁側や室内でお茶とお菓子



## 空間イメージ-蔵

- ・ 酒づくりの道具展示
- ・ 屋敷と連携した活用



## 空間イメージ-中庭

- ・ 中庭もレンタルスペースに活用し、ビアガーデンとして使えるよう整備



## 仕掛けのイメージ、その他

- ・ ねぶたなどの祭りの時にはこみせを観覧席として活用
- ・ 祭りの旅行をNPOが企画し、宴会場として関善訪問を組み入れる (小川IT)



## まとめ

- ・ 今後の課題や問題  
壁塗り作業の工程確認、打ち合わせ  
各グループごとに活用イメージの具体化とまちづくりとの関連  
蔵についての資料の不足  
まち環境班とのイメージ擦り合わせ  
NPO・住民・大学・外部の協力体制
- ・ 必要な調査、作業など  
蔵に関する図面、資料の収集  
関善酒店周辺の把握 (雰囲気、利用者など)  
壁塗りについての知識